■一般国道54号※の混雑状況

191号分れ交差点

安佐北区可部七丁目

■一般国道54号※の交通事故発生状況

※一般国道54号可部バイパス（供用済区間）に並行する現道区間（広島市安佐北区可部南四丁目～同区大林町）は、平成28年4月1日付けで路線名称を一般国道183号に変更し、広島市が管理しています。

今回の開通により期待される主な効果

1 可部地区の渋滞緩和
可部バイパスへの交通の転換により、渋滞が緩和し、所要時間の短縮が期待されます。

2 死傷事故の減少
交通の転換により渋滞が緩和することで死傷事故の減少が期待されます。

3 可部地区の地域活性化に寄与
物流の円滑化や混雑緩和による利便性向上により、沿線地域の活性化が期待されます。

4 救急医療の支援
円滑な救急搬送がなされ、搬送時間の短縮や患者への負担軽減が期待されます。

5 冬季交通の安全性の確保
未供用区間の整備により急勾配区間を回避でき、冬季の安全性向上が期待されます。

国土交通省中国地方整備局
三次河川国道事務所
〒728-0011 広島県三次市十日市西６丁目２番１号
TEL：(0824)63-4121 FAX:(0824)64-2240
https://www.cgr.mlit.go.jp/miyoshi/
https://twitter.com/miyoshi_mlit

道路緊急ダイヤル（無料）
道路の異状を発見したら…
緊急通報 #9910へ 24時間

2022.4

可部バイパスの概要

国道54号※は、広島～三次～松江間を結ぶ陰陽連絡の主要な幹線道路であり、社会経済活動に大きく寄与しています。しかし、国道54号※沿道の広島市北部地域は、急激な宅地化が進み、人口が増加しました。

こうした人口増加に伴う通勤・通学交通の増加や広島県北部、山陰地域から広島都心部への通過交通等により、広島市安佐北区可部付近では、慢性的な交通渋滞が発生するとともに交通事故も多発し、都市活動に重大な影響を及ぼしています。

可部バイパスは、これらの問題を解消し、幹線道路網を体系的に整備するために計画された、新太田川橋から上根バイパス（平成２年３月開通）を結ぶ延長9.7kmの４車線のバイパスです。

なお、これまでに起点から国道191号までの2.8kmを平成8年8月に、国道191号から（県）南原峡線までの1.4kmを平成15年3月、（県）南原峡線から（市）山倉線までの1.8kmを平成19年3月に、（市）山倉線から安佐北区大林三丁目までの2.2kmを平成26年2月に暫定2車線で開通しています。

引き続き可部バイパスの４車線化事業を進め、起点から可部南４丁目（南）交差点までの0.7㎞を平成26年3月に、可部南４丁目（南）交差点から安佐北区民文化センター入口交差点までの2.1㎞を令和3年2月に4車線で開通しています。

■計画概要

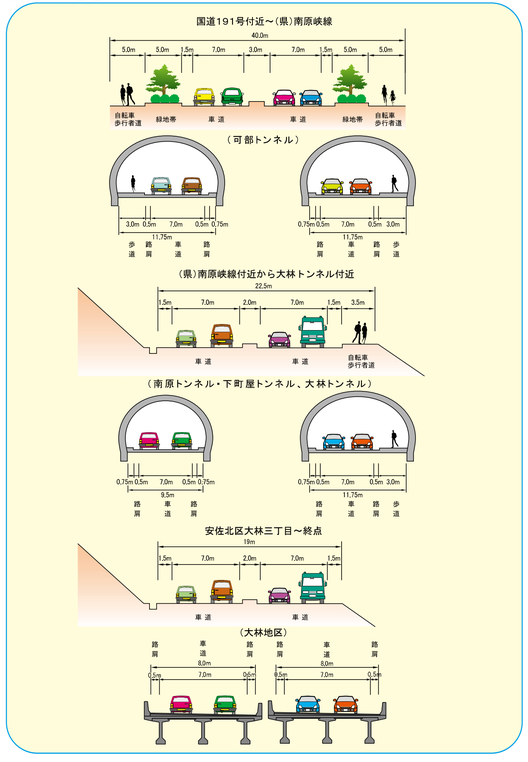
計画延長	9.7km	
施工区間	安佐北区可部南一丁目～安佐北区可部五丁目	安佐北区可部六丁目～安佐北区大林町
区間延長	2.8km	6.9km
道路の区分	第４種１級	第４種１級・第３種２級
設計速度	60km/ｈ	
車線	４車線	
標準幅員	40m	40～22.5m

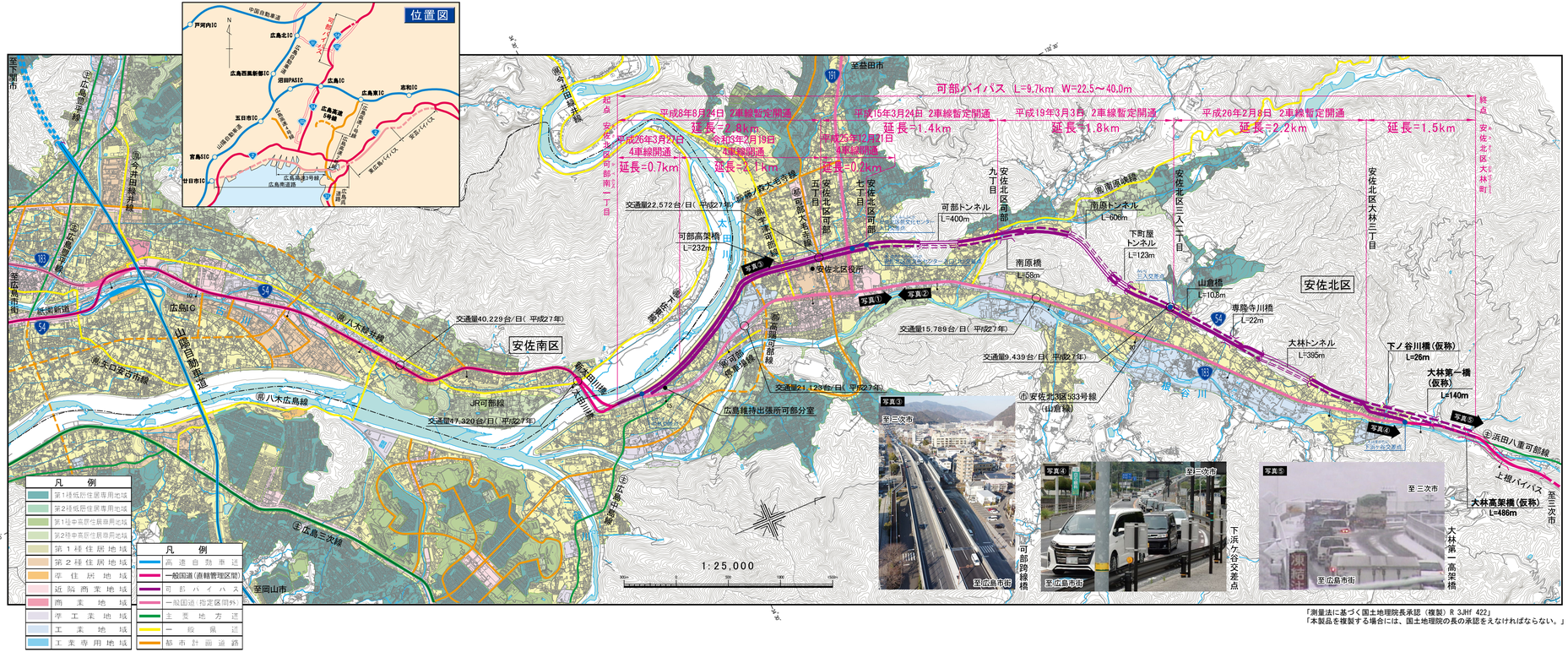
■事業の経緯

都市計画決定	昭和56年12月22日 平成15年2月24日（変更） 都市計画道路・八木大林線
事業化年度	昭和56年度
用地着手年度	昭和58年度
工事着手年度	平成2年度

KABE BYPASS

■標準断面図





「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 3JHf 422」
「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認をえなければならない。」